

会 議 録

名 称	平成 30 年度第 2 回岸和田市地域公共交通協議会									
開催日時 及び場所	平成 30 年 11 月 5 日（月）午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分 岸和田市立産業会館 集会室									
出席者 委員 29 名 うち 出席 24 名 代理 6 名	土佐	津村	大西	大井	阪部	多和	中野	梅澤	秋元	山崎
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	酒井	辻	澁谷	大仲	吉野	安藤	西田	寺田	北口	水内
	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	日野	伊勢	稲沢	後藤	横山	日田	別所	小川	土井	
	○	×	○	○	○	○	○	×	×	
	事務局（まちづくり推進部市街地整備課） 実森課長、秦担当主幹、森下担当長、本田主査、新谷									
傍 聴 者	0 名									
<p><<概要>></p> <p>■議事</p> <p>① 岸和田市交通まちづくりアクションプランについて</p> <p>② 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【公共交通編】 H29 年度事業報告・評価指標について</p> <p>③ 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【公共交通編】 「施策② ローズバスの改正」について</p> <p>④ 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【総合交通戦略編】の策定について</p>										
<p><<内容>></p> <p>■岸和田市地域公共交通協議会の会議録について （会長） 会長より本日の会議録署名人として寺田委員を指名</p> <p>■内容</p> <hr/> <p>① 岸和田市交通まちづくりアクションプランについて （事務局） 資料 1 を用いて説明 （意見等なし）</p> <hr/> <p>② 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【公共交通編】 H29 年度事業報告・評価指標について （事務局） 資料 2 を用いて説明 （会長） 観光入込客数について、一般的な観光客数に近い詳細な資料（2-2）を提示させていただいた。今後も経年変化を見ていきたい。</p> <hr/> <p>③ 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【公共交通編】 「施策② ローズバスの改正」について （事務局） 資料 3 を用いて説明 （会長） 前回の協議会で（案）を示させていただいた。 関係機関との協議が調いましたので、今回の協議会で合意をいただきたいとの内容でした。 ～委員からの意見～</p> <p>（委員） 岸和田駅前の降車場では前降りである。車いす利用者が降車するためには、後ろの降り口から降車できる必要がある。現状は、フェンスの切込みが 1 箇所しかないの、後ろの降り</p>										

(事務局)	口に合わせて、フェンスの切込みが必要。また、車いすに対応した降車場もあるが、駐車が 多くあり、運用が難しいので、改良が必要。
(副会長)	今回の改正については、運行者との協議を元に作成している。委員ご指摘の箇所については 再度、運行者に確認する。
(事務局)	今回の改定については、収支率 40%を目指すとのことだった、広報をされる際には、収支 率の目標も周知していただきたい。他所の例では、地域で収支改善に取り組んでおり、掲示 板等に「目標まで〇人」等を掲げている。今回の改正では料金改定があり、目標が定まって いないと、悪い点のみがグロースアップされる恐れがある。
(副会長)	平成 12 年の運行開始以来の改正である。広報する際は、ご指摘のあった利用促進も可能な 範囲でしていきたい。
(会長)	現在の収支率が 2 割しかない現状。存続の危機であるので、皆で乗って収支率 4 割を目指 そうと周知していただきたい。利便性向上による乗車数増だけでは、立ち行かない現状があ るので、料金改定の必要がある等と説明すればよい。
(委員)	市民の皆様の中には市の財政状況を勘案している方もいるが、勘案せずに、安い方がよい、 本数が多い方がいいと考えている方もいるので、広く理解を得るためにも副会長の指摘に沿 って広報活動に取り組んでほしい。
(委員)	公共交通網形成計画を作成し、PDCA サイクルを用い、目標に向かって進めていただいで いますが、計画の内容と共に目標の進捗状況も広報することが必要。その中で、目標達成の ために、ローズバスの利用促進の訴求を行う。計画を作成しただけではなく、知っていただ くことも重要。
(事務局)	前回協議会の資料の中で、「バス停留所のネーミングライツを継続検討する」とあるが、進 捗状況はどのようになっているか。
(会長)	ご指摘の件は次のステップと考えており、まずは、ローズバスの改定について取組を進めた いと考えております。
(会長)	他に意見が無ければ、ローズバスの改正については合意としてよろしいでしょうか。
(会長)	異議等ないようですので、ローズバスの改正については合意といたします。2 月の改正に向 けて手続きを進めていただきたい。

④ 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【総合交通戦略編】の策定について

(事務局)	資料 4 を用いて説明
	～委員からの質問～
(副会長)	関連事項になるが、泉州で観光プロジェクトがある。鉄道事業者にお聞きしますが、関西空 港を利用する観光客に、泉州の観光地をどのように情報提供されているか。
(委員)	弊社のインバウンド事業部が取り組んでいる。知る限りでは、大阪市内への誘導施策のみな ので、今後は地元の自治体との連携をとり泉州への誘導施策も必要と考える。
(委員)	インバウンド対策としては、鉄道事業者が駅で配布している冊子に岸和田ブランド、観光地 の情報を掲載している。インターネットを用いた情報発信を行っている。
(副会長)	観光の誘導のためには、鉄道事業者との連携が一番効果的と思われる。泉州の観光地へ行く ための企画乗車券（鉄道とバスの乗車券がセット）等を検討いただけないだろうか。鉄道事 業者と連携することによって、当該計画の実行によりはすみがつくものと思われる。
(会長)	他に意見が無ければ終えたいと思います。

⑤ その他

(事務局)	今後の作業は、本日、合意を頂きましたローズバスの改正について必要な手続きを進めて参 りたいと考えております。 次回の協議会ですが、本年度の協議会は本日の第 2 回目で予定は終了ですが、他の施策等の 取組みも進めて行く中で、開催が必要となることも考えられます。その場合は、日程を決定 した段階で、皆様へご連絡をしたいと考えておりますので、その際は、宜しくお願い致しま す。
(会長)	今回の協議会を振り返りまして、意見があるようでしたらお願いします。
(委員)	観光入込客数 300 万人はおかしいと常々から申し上げて来たが、今までは一切修正されな かった。本日初めて、詳細な数が資料 (2-2) として出されたことはいいことだ。加えて、

